

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	免震構造小委員会		主 査 名：近藤明洋 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：五十田博 (主査名：菊地 優)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>免震構造に関連した適用技術や研究内容について時間的変遷を踏まえた検証を実施。技術開発、研究の方向性を見出し、今後の免震構造の健全な普及に資する情報を社会に提示。</p> <p>初年度：最新の技術情報の収集および開発技術の検証内容の抽出。2022 年度大会振動 PD 情報提供準備。</p> <p>2 年度：免震技術に関して今後の方向性の議論実施。大会 PD での講演内容について具体的な検討、PD 開催対応。</p> <p>3 年度：免震技術に関する今後の方向性の検討実施。</p> <p>4 年度：免震技術に関する評価内容及び今後の開発、研究の方針についてのまとめ実施。次版『免震構造設計指針』の執筆内容、執筆者の確定、調整。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：近藤明洋 (鹿島建設) 幹事：犬伏徹志 (近畿大学)、鈴木庸介 (竹中工務店) 委員：井澤保一 (日本設計)、荻野伸行 (熊谷組)、加藤秀章 (ブリヂストン)、菊地 優 (北海道大学)、木本幸一郎 (エス・エー・アイ構造設計)、小林正人 (明治大学)、高山峯夫 (福岡大学)、藤山淳司 (大成建設)、中西規夫 (日建設計)、平木隆文 (中部電力)、福喜多輝 (清水建設)、三輪田吾郎 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)	免震技術検討 WG：免震技術の研究、適用初期段階から適用増加期の技術について、技術情報等の収集を行い、現在から今後の研究、技術開発、建物への適用についてまとめを実施する。		
2022 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	1. PD：免震・制振技術の周辺環境と未来—免震・制振の 10 年後・30 年後を見据える— 参加者数 377 名 (オンライン) 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 傘下の免震技術検討 WG での検討内容を小委員会で共有し議論を実施した。免震技術の開発経緯などの情報まとめがなされ議論の端緒となっている。 2. 2022 年大会 PD を振動制御小委員会と共催した。参加人数が多く、有用な情報を提供できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 会議の開催形態が WEB 会議となっており議論の進め方、資料準備などで対応していく必要がある。 2. 大会 PD での議論内容、参加者からの意見を生かして議論していく必要がある。